服忌問答 上

共三本
四十五

太政官文庫
出書門
七八八七
二〇二
九
三
號函架冊

348
内閣文庫
和
七八八七
三
五三
二一
號冊架

内閣文庫
番號 和 7887
冊數 3 (1)
函號 153 348

153-348

国立公文書館
National Archives of Japan

二百六拾五

一 愚儀ハ[illegible]ニ有之候ヘトモ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ

十　一　二代目先祖死去之元亀九代目之家督之者跡忌同合

十一　一　如子に中絶之跡忌ハ月日同合

十二　一　祖父之實方曾祖父跡忌之事

十三　一　改葬遠国ニ七歳未満之死絶跡合ハ之事

十四　一　實父方之父母実母方之父母実祖母ハ月日ニ而ハ合同合

十五　一　跡忌同合方之歳ニ付ハ舊分

十六　一　父母閏月死去ハ節之事

十七　一　流産無嗣之歳同合

十八　一　ハ抱胎婦之者跡忌之事

十九　一　養ハ実女後ニ父方母方雖父方之之事

二十　一　七歳未満之者父母跡忌之事ニ親類死去之元之事

二十一　一　母之後之夫入聟之ハ先夫之子ハ養父ニ當ル之事

二十二　一　父子兄弟伯叔父甥養ニ成ル時之事

二十三　一　跡忌清方ハ之事

二十四　一　御家ニ付之歳同合之事

二十五　一　反魂之事

二十六　一　ハ殺ス　仕分ハ者之事

二十七　一　妻ハ病ニ及数年ハ分時之妻之ハ月時之分之跡忌之事

二十八　一　躾之家譜伯父祖父之事

二十九　一　死産ハ跡清ハ方ハ家中ハ遠去後ハ長所　仕分ハ分跡忌之事

三十　一　先妻之子ハ後妻ニ長離別之母方ハ母死母ハ之事

三十一　一　名字ニ極ル者之事

三十二　一　種之事

三十三 一冊中ニ養子ニ事
三十四 一聞届ニ事
三十五 一堂上方ヨリ授子ニ事
三十六 一授子ヲ養子ニ致シ別ニ事
三十七 一知地配當ニ事
三十八 一養子後ニ実家ニ新屋敷ヲ建テ別家ニ致シ石出有之実父
後妻子ヲ捨テ後出生ニ次男ヲ家督ニ願ハ不届ニ事
三十九 一當祖父母高祖父母ニ実職ニ被成ハ何ニ成ル事
四十 一祖父ニ妾ヲ出ス実ハ祖母ニ後ヲ被致ニ事
四十一 一妻ヲ法ニ切ル実ハ果ル節ニ事

巻之中目次

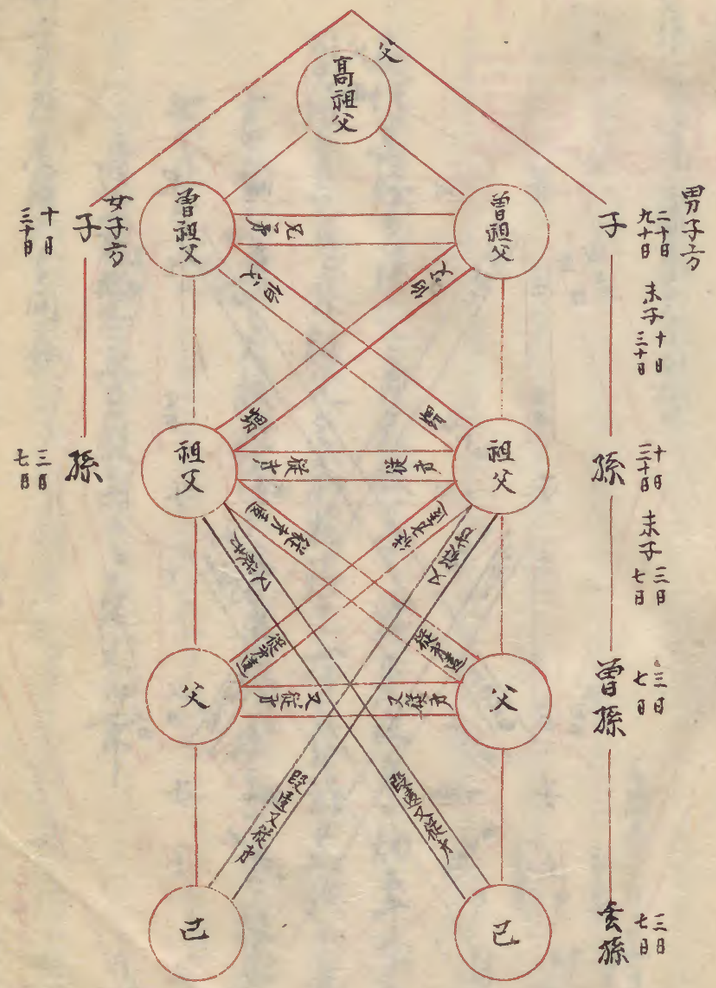
一 養父方 伯叔父姑 兄弟姉妹 従弟従妹 甥姪
二 父方
三 父ニ實方
四 實父ニ実方
五 養父ニ実方
六 實父方
七 養母方
八 養母ニ養方
九 養母ニ実方
十 離別ニ冊
十一 出奔ニ冊
十二 絶冊 絶祖母 絶子

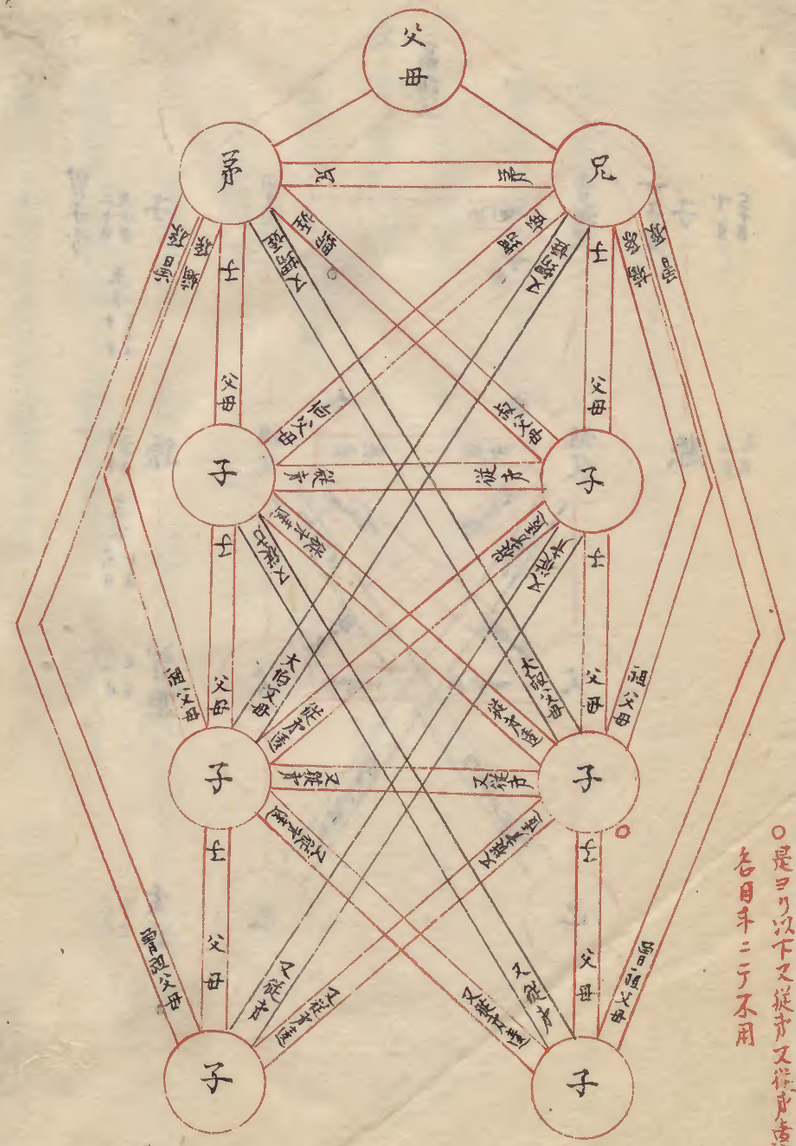
一 隔母

巻之下目次

一 母方
二 實母方
三 母之實方
四 母之養方
五 實母之實方
六 父母師弟
七 一子 順養子 養女 實家ニ養子ニ出生之子供 出奔元
　 出家縁之後新家別家
八 一 隔隣義組

九 一夫 妻 妾 出奔之妻
十 一 異又 異母 異母兄弟 異又兄弟


高祖父
父
曾祖父
曾祖父
祖父
祖父
父
父
己
己
子
子
孫
孫
曾孫
玄孫
男子方
女子方
二十日
九十日
末子十日
三十日
三日
七日
末子三日
七日
三日
七日
三日
七日



○愚後カ云ヒ伊大叔父ヒ叔父ニ
文化八未八月二浦志ヲ同合

内閣文庫

二浦志ヲ家来
初家
戸村後志ノ郡
本家
戸村何某宛

右何某後志ノ郡大叔父ニ後ル由ニ事

愚後カ月ニ伊叔父ニ肝胆中ニ
書面ニ通ニ大叔父後ニ者愚後ニ
出ニ事ニ

二

○遺骸送ル日数ニ付ニ
出ル事

同四月内後播ヲ同合

内藤芍山遺稿ニ九日ハ高地出ニ
同十日相列孫倉邪弦光明寺

葬式執行中は日忌を除き百日忌九日迄二月十日忌以内は
用書状を出動不仕候迄親族中に有之候葬式も如斯取扱申候
一日迄に葬式仕候儀に不有之候哉

書面に親を播磨に忌明に成候而出動仕候若且迄親族中
に葬式以前に死亡致候日より百日忌葬式は日中一日に迄忌服
仕候

○七歳未満に者父母死去致候中に年齢七歳に相成候
同月十九日田村右京亮宮合

七歳に者に父母死去に成候に迄忌八歳に成候に迄忌服仕候
七歳未満に者迄忌中年齢に成候節に八歳に成候月忌中に成候
節に忌服中に有之候哉

書面に通に七歳未満に内父母死去に成候に十日に成候年
に成候に忌服に成候に迄忌日数に別に成候

○高祖父母に忌服に事
文化九申年月日年後宮宮合

高祖父母に方に忌十日服に方に迄忌一日服忌仕候
に右に通に忌に成候に曾祖父に母に忌に一日に迄忌
に成候に右に曾祖父に母に忌に一日に迄忌
に成候に右に曾祖母に猶に服忌に一日に迄忌に成候
哉

書面に通に

○出家いたし候者に事
同年同月日年記に別宮合

僧尼に相成候者に忌服に別に仕候哉
養女に忌に養子に忌服に別に仕候哉

文政六未年正月改正帳面合

浅草寺一寺一山之法用ニ従ハ者死去之御本寺親類縁組之儀

法式之儀

書面之通被仰渡候寺院住職ハ之儀ハ別紙ニ

記載之通

又在之通知寺院ハ之儀ハ門徒ハ養子ハ成ハ者ハ指別住職之儀

譜代養子ハ養家ハ之儀ハ別紙ニ同様星元ハ親族ハ末孫ハ高縁

ハ之儀ハ

書面之通一向寺院ハ養子ハ住職ハ縁ハ一ハ他家相

続ハ養子ハ唯ハ実方父母ハ之儀ハ武組父母伯叔父ハ本城ハ寺ハ師弟

ハ之儀ハ本末ハ親類縁組ハ之儀

同十子年六月改正帳面之事

百石以上ハ下役ハ当ハ四月ハ内ハ法方御書ハ成ハ儀ハ住職ハ差別

ハ相渡候ハ縁組ハ之儀ハ也ハ沙汰ハ

此書面ハ通ハ住職ハ寺院住職ハ之儀ハ本末ハ

縁組ハ

文化九申三月改正帳面之事

聖ハ縁女聖明ハ聖ハ門ハ縁ハ月離縁ハ後ハ女ハ養女ハ

聖ハ縁女ハ聖明ハ聖ハ門ハ縁ハ月離縁ハ後ハ女ハ養女ハ他ハ嫁ハ

此書面聖ハ縁女聖明ハ聖ハ門離縁ハ女ハ養女ハ他ハ嫁ハ

沙ハ聖ハ之儀ハ縁ハ之儀ハ縁ハ他ハ嫁ハ

○ 初年ハ貧父母死去ハ養育ハ成ハ分ハ縁ハ事

四人寄合

右後妻母死去いたし候ハヽ分出せ申候相分文蔵と申候者ハ
故長吉と右新女死去ニ付長吉母と暇ニ成申候
書面通ニ而文治ハ

○ 文蔵養子ニ成文蔵方暇を願母ニ成申候者ハ文方ニ成
ニ成

書面通ニ而文方暇を願母ニ成申候

文化九申年八月六日ニ願出合

文蔵養子ニ成文蔵方ニ暇を願母ニ成申候
師匠願ニ成母方ニ成ニ付而ハ暇ニ成
書面通ニ而文方願母ニ成申候

四月廿年ニ帰宅願合

右相続仕候者縁切ニ成ニ付ニ成申候者ニ而ハ相続ニ成
ニ成

書面ニ而右相続ニ成縁切ニ成日ハ相続ニ成日ハ
養父申月十三ヶ月ニ成ニ付ニ成方親類ニ成ニ成
一 親ハ者七歳ニ成者ニ而七歳ニ成ニ成ニ成ニ成
ニ成ニ成ニ成ニ成

書面ニ而ハ家ハ上ニ成ニ成相続ニ成日ハ
ハ養父ニ成申月ニ成十三ヶ月ニ成

但死ニ成ニ成七歳ニ成ニ成ニ成ニ成

一 ニ成ニ成ニ成相続ニ成一旦中絶ニ成者ニ成中右
ニ成相続ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成ニ成

書面之通之久之沙汰之右伝記之後ハ一旦中絶ニ付ク右伝記之後
ハ[illegible]之[illegible]之[illegible]ハ日本[illegible]文政十月十三日之右跡[illegible]之
養方親族[illegible]跡[illegible]

十

○三代目先祖死去之ニ付九代目之家督之儀跡系

文化九申年八月源左衛門[illegible]

三代目　先祖　[illegible]　[illegible]

四代目　先祖　[illegible]　竹内某

五代目　高祖父　[illegible]　竹内某死

六代目　曾祖父　[illegible]　竹内某死

七代目　祖父　[illegible]　竹内某死

八代目　養父　[illegible]　竹内某死

九代目　當代家督　[illegible]　竹内某

右之代目之先祖死去之ニ付九代目家督之儀跡系[illegible]又ハ
[illegible]右日数之後[illegible]

書面之通跡系[illegible]但[illegible]日一日之[illegible]

十一

文化九申九月十日[illegible]

[illegible]

書面之通[illegible]文母[illegible]
[illegible]

十二

○祖父之實方岩之祖父

同年十月井上[illegible]

一　曾祖父　[illegible]多水蔭死

一　祖父　[illegible]浦大膳

一　父　[illegible]浦熊之助

一 [illegible]　　文政[illegible]　松浦八十右衛門

右[illegible]祖父[illegible]水腫死[illegible]祖父[illegible]

有之候[illegible]

書面之通[illegible]

十三

○改葬遠三郎七歳未満死産

文化十四丑二月[illegible]

他人[illegible]改葬[illegible]歳[illegible]

[illegible]改葬[illegible]七歳未満[illegible]

[illegible]

書面[illegible]他人[illegible]改葬[illegible]相願[illegible]

[illegible]

[illegible]改葬[illegible]七歳未満[illegible]

[illegible]改葬[illegible]七歳未満[illegible]者改葬[illegible]他人

[illegible]

文化六巳六月右同人同合

七歳未満[illegible]者死去[illegible]

一 [illegible]人合[illegible]者

書面[illegible]七歳未満[illegible]死去[illegible]

改葬[illegible]

[illegible]

一 端合

書面[illegible]

一 七歳未満[illegible]改葬[illegible]

一 七歳未満[illegible]者死去遠三郎[illegible]改葬[illegible]

書面之通七月朱書陽之者ニ付大人死去ニ付吟味案内
ニ成候ハ

一

書面之通七月朱書陽之者ニ付大人死去ニ付吟味案内
ニ成ハ　但父母改葬之儀ハ陽記ハ自葬ハ日ハ一日之遠忌ニ
成候事

右為御届如件

七月十四日　秋月九兵衛内与左

信濃国
佐野宮内
出羽中野

別紙七歳未満之者死去ニ付一ト月長合過ニ成候ハ改葬
之儀ハ日ハ之内ニ有之候ハ知れ申ス事ニ候ハ様仕候
ハ処長合過ニ成候ハ死穢之儀ニ付七歳未満ハ歳ハ之儀
葬儀記ハ日葬ハ日ニ候ハ大人ニ成候ハ一ト月遠忌ニ成
候ハ改葬之儀ハ陽記ハ自葬ハ日ハ一日之遠忌ニ
成候ハ

未満之者親ニ死去之節ハ親ニ成ハ葬儀之儀ハ
いつれ陽記ハ日ハ之内ニ成ハ改葬之儀ハ陽記ハ日ハ
遠忌之儀ハ文政之右仕相成ハ申ス事ニ成ハ大人死
去之節ハ未満之方ハ実父母之儀ハ死去年月ハ陽記
ハ日ハ遠忌之右仕ハ事ハ別紙同会出附札之通様仕候
別紙仕候ハ申ス事ハ

第　三　名

文政五午正月出野之反ハ名合

一　陽記ハ命之内改葬遠忌ハ一日ハ之儀ハ右之出ハ母之改葬
いつれハ陽記ハ日ハ二日遠忌いつれハ
一　実父之儀ハ改葬いつれハ陽記ハ死ハ養子之儀ハ不及遠忌ハ

書面ニ而ハ不届ニ付通ス

十四

○養實羅女祖母ニ事

文化十五六月ニ方ニ藤屋合

一實祖母　家女　右藤屋ニ後妻相成ニ付

書面ニ而ハ実祖母ニ相ニ若実文方ニ而家女ニ高十四日藤七十

六日法ニ実母方ニ高十日藤屋ニ相日ニ付

但実祖母ハ方ニ出ニ実ニ成ニ付藤屋家ニ遠ニ家ニ

除ニ同合ニ付ニ

十五

○藤屋同合方ニ後ニ付書付

同年十一月

右藤屋ニ十月十日藤屋同合ニ後ニ付書付

内覧ニ付ニ藤屋ニ藤屋ニ同人ニ遠ニ

書面ニ而ハ不届ニ付通ス

渚向ニ藤屋同合ニ後ニ藤屋ニ付ニ

ニ付ニ文化五辰年ニ　作出ニ後ニ付向ニ

藤屋同合ニ向ニ多ク藤屋ニ藤屋同合ニ付ニ

藤屋ニ藤屋ニ中ニ藤屋ニ文化五辰年ニ書付ニ藤屋ニ藤屋ニ

中ニ遠ニ藤屋ニ中ニ遠ニ藤屋ニ同合ニ付ニ藤屋ニ

藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ

藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ

藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ藤屋ニ

作為相用ニ
差図ニ
藤屋ニ
藤屋ニ

九月

文政五午年十月二日藤屋

入組ん腹痛と問合せ書面を以て申遣候様
扱も腹痛問合せ出こと不苦と元文二度出願の通り遂行とも出来り候ハ
ヾ不苦事

十六

○又母国月に死去ハ法事等
文化七庚午三月十三日御郡役所問合
一 腹十三ヶ月と基月を門に望月ハ左ハ殺害ハ三月出産ヶ月に出産
望月ハ腹中に赤子ハ法事望月ハ十三月に腹法不中ハ

書面之通ハ

十七

○流産血気之事
同月晦日朝吳服屋清兵衛問合
流産血気之儀出産帰後血気ハ不中ハ又ハ出産帰
前ヶ血気出産帰後ヶ流産と不中ハ

書面之通ハ出産帰後之儀ハ別形状ヶ流産形状ヶ血気
ハ

文政三辰年松平安芸守問合
産穢之儀夫婦忌之日数一通ヶ腹痛問合ハ
お文形状ハ流産形状ハ血気ハ左右
懐胎之初月ヶ或ハ九ヶ月又ハ十ヶ月に産ハ上を懐胎ハ
ハ流産占ハ面夫婦産穢様ハ勿論ハ産日数ハ夫婦人ハ十
日也四日不中ハ

書面之通ハ懐月に出生ハ死産ハ一ハ流産ハ夫婦人ハ十日
ハ穢ハ

同四壬二月戌歳年人口問合
産帰月満ハ上脇死ハ出生ハ流産ハ郡中夫ハ産穢ハ

七日ニ稚子ハ死亡ス胎死ニテ出産ニテ死ス　流産孫ニテ出産ス

書面ニ通ニ陳用ニテモ四郎兵衛ハ異説ニ出異ニ形狀ニ唯ニ血流ニ孫七日ニテ四郎兵衛ハ流産孫ハ日ニテ

十八

○ハ地蔵ニ者腹ニ子ニ事

文化十年四月四郎兵衛ハ地蔵ニ会

地蔵ニ者貴代ニ於ニ死亡ス

又母方十月十三日ニ腹ニ子ニ産ス養方親族ニ通ニ

書面ニ通ニ

同五辰年月ニ養母方ニ親族ニ会

安永五酉年ニ八三郎ニ養子ニ

於本丹蔵

養母方

一　祖母　故ニ後ニ養ニ家ニ

追養ニ事

一　養母

安永八亥年ニ八三郎ニ養子ニ

於本八三郎ニ養ニ

右丹蔵儀八三郎ニ養子ニ成ル前ニ六月十八日親族ニ　右出ル者ニ

母方ニ祖母死去ニ成ル前ニ迷惑ニ成ル分地蔵ニ者ニ唯ニ忘ル

書面ニ通ニ地蔵ニ者ニ養子ニ右同ニ名ニ成ル儀ニ上ハ養

実ニ兄弟ニ相ニ成ル儀ニ養子ニ唯ニ母方ニ忘ル日腹九十日ニ

地蔵ニ者ニ母方ニ忘ル日腹ニ

地蔵ニ者ニ丹蔵ニ忘ル文会ニ月ニ例ニ洞ル別儀ニ

地蔵ニ者ニ右月ニ例ニ自分ニ腹ニ

養子ニ成ル儀ニ唯ニ丹蔵ニ忘ル文会ニ

紋付の袴着用の者と名乗れば後ろ指さされ世間の笑いものとなる又は入牢の沿革と者共自己の孝行感心を表し世間の称賛を受ける例多し然るに武士の家に生まれ養子の後を継ぎ家を保つ者は世間の笑いものとなる

三月　佐野与左衛門

類例

天明八申二月初席御使者番同合

出抱入手力同心共不行届の儀に付き改易迫る出家代に相続の儀に付き出家代に相続の者出家父母忘恩武式に通ぜざる儀べかりしに迫る親に者出家父母忘恩武式に通ぜざる儀紀元来出抱入に者ども表に出家に相続の儀に付き新参の儀に付き出家代番出抱入に相成り後出家に成り一筋に忘恩に候段に付き親中筋に忘恩に候段に付き

此度出合申

書面に出抱入に出家同心に成り候段に付き出家代に相続の儀に付き出家代に相続の者出家父母忘恩武式に通ぜざる儀

寛政七卯三月出抱入手力同心出家代に相続の者出家父母忘恩武式に通ぜざる儀

一　出家父方叔父　忘二十日　股九十日　右に通ぜざる

書面に出抱入手力出家に名月類あり出家に方股高に候に付き出家に方股高に候に付き

同七月伺表に同じ出合

出抱席に出家和年出家に成り出家代に相続の者に付き右出家に方出家父母に親族に忘恩股

叔父に忘恩に候に付き

書面出抱席に養子に名月に付き股高に候類及様様

出抱席に出家に出家に出家に者に出家代に出家に出家に者に出家に出家に者に出家に出家に者に出家代席出家父母に推し六十日

十三ヶ月ニ成候ハヽ又ハ完別もいたし候ハヽ者ニ親族共ト右ハ
当代ハ勿論ハ者跡ハ如何ニ成ハ
書面ニ無之ハ拾歳ニ成ハ者養子ニ成候ハヽ親族共ハ
但自分儀ニ成候ハヽ養子ハ階ニ成候ハヽ親族ハ
寛政八辰六月十三日ハ左之通ニ申渡ス

養方
一 伯母　ハ親ハ知ル
　　ハ親ハ知ル

親族共
安世
源兵衛

寅歳　亥十月　跡ハ五日

但親組ハ家ハ拾歳ハ勿論ハ家ハ又浪人ニ成養
子ハ成ハ者ハ者ハ勿論ハ者ハ
書面ニ無之ハ拾歳ハ養子ハ成候ハヽ親族ハ
授ハ

右ハ拾歳ハ右ハ無之ハ一ハ者ハ者ハ跡ハ成ハ
跡ハ無之ハ月分ハ方ハ紀ハ者ハ跡ハ他事ハ行勤役ハ者同役役ハ
上部ハ跡ハ者跡ハ成ハ月右同役ハ者ハ者ハ
文政五午ハ月八日ハ升跡ハ宗合

ハ拾歳ハ者男子ハ者跡又ハ者ハ者ハ者ハ
いつれ相果ハ者ハ又ハ者ハ者跡ハ
但知年ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
上ハ養方ハ親族ハ者ハ者跡ハ者ハ
書面ハ通ハ拾歳ハ者男子ハ者ハ者ハ者ハ
ハ他ハ者ハ者ハ養子ハ
外ハ親族ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
上ハ部ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ

但暇又ハ書面ニ出ル時ハ出ル者ハ代ニ
ニ付類及接授ル

一 出ル者ハ猶予ス者ハ当代ニ於テ先番ニ出ル時ハ
ニ付暇ヲ与ル

但先番ニ者出ル後没退ニ付ハ其ノ者ハ当家ニ後ヲ
ニ付ル

書面ニ無之但ハ通ニ其系同断ニ出ル者ハ当代ニ於テ
当家ニ於テハ出ル者ニ別段ニ沙汰ニ付ハ
同合ニ付ニ及接授ル

一 同断ニ付ニ先番ニ付ハ没退ニ付ハ先番ニ者同断
ハ其ノ者ハ暇ヲ与ル

但先番ニ者ハ先ハ又ハ師ハ他ニ出ル者ハ先番ニ者同断ニ

自ニ出ル暇ヲ与ル

書面ニ但書ニ無ニ先番ニ沙汰ニ付ハ
石地暇ヲ与ル

○養家員数欠ニ付又ハ方ニ類ニ付ハ
文化十戌五月行事ニ相問合

西光寺小坂組
小四郎ニ養子ニ組
中多良寺

右ニ付ハ当ニ藩実父伊東藤次実暇ニ出ル者ハ組ニ
ハ元寛政七卯年白心様出家ニ付ハ類縁組仕ル
千年ニ藩家系ハ組仕ル藩ニ養実ハ
候ニ付ル

伊東白心様

右之通書面実ニ相違無之ニ付ハ又ハ
文化十戌年五月廿日ニ暇ヲ与ル

武さ家ち書面こと色こうれ

右之通書面之儀相違無之候ハヽ為印形差出申候

伊東主膳
下男
源助

書面之色之人ハ毎年之儀者之儀者ハ一度宗方浦ハ遠所ハ肝煎ハ出ス

方師姉宗武忘二十日肝九十日ニ成

伊東主膳

養祖母

右之通書面之肝煎ハ眼ハ文方叔母ハ病ハ祖父白心殺ハ長女ハ出ス

如成申ス忘肝煎方如何ハ出ス

書面之通ハ文方伯母宗武忘二十日肝九十日ニ成

伊東主膳

養祖母

右之通書面之肝煎ハ祖母宗子白心殺ハ養孫ハ一度ハ

肝煎ハ出ス

書面之色ハ忘三日肝七日ニ成

○七歳未満之者又母ハ親類ハ更ニ無之事

宗歳二申七月十日任義白日ニ宗合

七歳未満之者又母ハ十二月ニ死ハ死去ハ宗武ハ忘ハ十日ニ日肝

年ハ七ハ忘ハ病ハ十日ニ宗武ハ又ハ

ハ八歳以後日数肝忘ハ

書面之色ハ七歳未満ハ十二月又母死去ハ日数年ハ

肝忘ハ

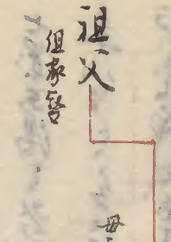
一　右同断遠所ハ死去ハ日数年ハ

書面ニ色々七累年渡ニ付父母死去いたし年月遠ク生存ハ
不明日ハ定ル不能ニ付離縁

九一

○母ニ従ニ夫入籍ニ付先夫ニ子有之養父ニ申渡ス事

文化十戌七月廿七日他出願ニ付



右之子ニ母ニ後ニ夫入籍ニ付出生父ニ お成ハ ハ ハ 右出生父死去ニ付

三十

ニ養父ニ申い定ル ニ 離縁ニ 出方 親族ニ ニ 離縁ニ

書面ニ ニ 通ニ 出生父ニ ニ 知 父ニ ニ 離縁ニ

九二

○父ニ先ニ他家ニ相続父母ニ 離縁ニ成ル時ニ事

文化十戌十月廿六日願ニ付

親子ニ ニ 離縁ニ成ル ハ 相出ニ 離縁ニ何 ハ 不 ハ

書面ニ ニ 親子ニ 離縁ニ成ル ニ 別 ハ

一兄弟或ニ他父母ニ 離縁ニ ハ ニ 離縁ニ 他家ニ 養ニ 成ル ニ 不 ハ

書面ニ ニ 兄弟他父母ニ 離縁ニ成ル ハ 他家ニ 養ニ 成ル ニ 不 ハ

離縁ニ 別 ハ

一他家ニ養ニ成ル親子或ニ兄弟他父母ニ 離縁ニ 別 ハ ハ ハ

書面ニ ニ 他家ニ養ニ成ル ハ 親子ニ ハ 離縁ニ 別 ハ ハ ハ

弟他父母ニ 他家ニ 養ニ 成ル ハ 親子ニ ハ 離縁ニ 別 ハ ハ ハ

九三

○離縁方法ニ

同十三子二月十三日願ニ付

妻離縁ニ子供ハ父ニ先ニ妻ニ師匠ニ

書面ニ通ニ 縁ニ 名月 ニ 離縁ニ 相 ハ 不 ハ

離縁ニ 法 ハ

一 忘肢法方こ後妙ら業方こ後妙こ実成こ法こ実方こ後妙こ業成こ法こ中後こ出家ハ一代男子こも女子こも同様こ出心治ハら医者の代如子こ他嫁ハらも実方ら三成こ法ハ後こ出家ハ代

書面こ通こられ

但遠張ハ出後成こ今地ハ死亡出家ハ如子こ出女こ出成他こ出嫁

入(算)ハ出ハ又出ハ出ハ出ハ肢忘忘味遠ハ出こ法ハ出

文化十三子年八月廿三日勝田方右衛門宅合

肢忘合聞忘こ第こ忘こ日数こら出ハ一日遠三忘肢忘明ハ出同様こ

力日こハ遠国こ出ハの法ハ死亡こ後十日目夕方こ承知こ出こ日ヲ出

三忘こ相心治ハ後こ又日ハ出ハ中ハら聖日前番出勤ハ出ハ又出夕

方承知こ出こ一日こ出三忘こハ出成ハ百聖日遠三忘こ心治ハら聖朝ハ前中

上前番ハ出ハ中上ハ前こハ肢忘合こ一日こ出こハ前後こ九ツ時分明後こ

九ツ時迄こ九ツ時前こハ一日こ後こ上ハ後日ハ出ハ出ハ出ハ出ハ

及ハ同合ハ

書面算忘こ後遠出こ於て死亡こ後出ハ出ハ出ハ出ハ父母こ命こ出ハ出ハ

肢忘海る日数法こ忘こ日数こ出ハ出ハ出ハ出ハ一日こ出ハ出ハ肢忘心治ハら

同前こハ一日こ出こハ前後こ九ツ時分明日後こ九ツ時迄こハ出ハ

出ハ出ハ出ハ一代後日迄こ一日こ後日こ後、忘ハ且ハ前方ハ出こ忘こ出ハ肢忘

命こ後こ別紙

同十四年十二月御井左衛門宅合

万石以上こ出方後ハ出こ忘肢ハ法方こ

御目見以ハこ流儀陪臣ハ出ハ出ハ法方こ成ハ

一 万石以ハこ出方後ハ 御目見以上こ出方後ハ出こ忘肢ハ法方こ出

町こ者ハこハ出ハ法こ成ハ

書面二て宗旨方差別無之
但家女之儀ハ一生実母ニ付之武士ハ旧藩ニ而用ハ
ハ藩ニ而用ハ藩ハ宗旨ハ
文政二年十月差出家女同会

一 又方組母　忘三十日　藩ハ心得ニ付
書面之通ニ
右之通ニ藩ハ藩ハ藩ハ年紀ハ
二月ハ藩ハ年ハ
書面藩ハ日数藩ハ儀ハ年迄紀ハ
藩ハ心得ハ三月ハ日数迄ハ
同年七月十日以来藩ハ家会

覚

忘藩二十日九十日ハ中藩ハ忘十日藩ハ十日ハ
例ハ
書面忘九月藩九十日ハ中藩忘十日藩ハ五日ハ藩中藩ハ三十日ハ中
○ 門家ハ
文化六辰年十二月板倉伊勢守同会
養子ハ三男ハ出家ハ仕門家ハ出家ハ藩ハ右出家ハ出家ハ
者ハ忘藩ハ何ハ心得ハ
書面ハ無ハ　門家ハ儀ハ
一 右三男ハ実父ハ藩ハ実父ハ忘藩ハ
一中ハ
一 右三男ハ実兄ハ師弟ハ叔父ハ藩ハ右三男ハ他家ハ出家ハ
藩ハ分実兄ハ師弟ハ藩ハ忘藩ハ一中ハ

一　右出家父母跡ニ居出家仕候男子有之候ハヽ弟ニ
男子ハ二人ニ候ハヽ右三男他家ニ出家仕候ハヽ家督
法下中式

一　右養父ニ生母ハ実母方祖父ニ出家仕候ハヽ
同方祖父ニ後家ニ成候ハヽ
同方叔父ニ後家ニ成候ハヽ
右養子ニ成候ハヽ
養子ニ成候ハヽ
右養父ニ生母ハ実母方祖父ニ後家ニ成候ハヽ
男子ニ実母ニ又ハ実方祖父ニ後家ニ成候ハヽ
右養子ニ成候ハヽ三
男子ニ実母ニ又ハ実方祖父ニ後家ニ成候ハヽ
右養父ニ生母ハ実母方祖父ニ出家仕候者ニ
跡ニ成候ハヽ
右養子ニ成候ハヽ
右養父ニ生母ハ実母方祖父ニ後家ニ成候ハヽ
男子ニ実母ニ又ハ実方祖父ニ後家ニ成候ハヽ
右養子ニ成候ハヽ三
男子ニ実母ニ又ハ実方祖父ニ後家

一 肢忘金之内に他家分出之者と成し出家養子と又は部屋住之者とも
お儀つくしの上にて右之出家養子と先代之名跡を
家名に他家相續之節の出家養子名目を設置候ハ同
断家名相続之出家肢忘法名中候これ有候ハ
書面之通之儀相違無之候

寅十月二月九鬼和泉守同合

部屋住之者養子之者名跡を相續致候ハ
附他家之出家と仕部屋住とお定り候先為後代之養子と仕候ハ
養子に仕候男三男之者抜に仕候ハ部屋住之者又ハ他出家之者とも
孫之者お定に肢忘法名中候

一 右之通祖父之出家に仕候ハ部屋住お儀之出家中ハ
出家と右部屋住之者とも肢忘法名中候ハ

書面之通之儀相違無之候

寅十月九鬼和泉守同合

部屋住之者養子又ハ養子離縁後他家ニ成出家
孫と孫と祖父之出家に仕候ハ前同断

文化元年十二月九鬼和泉守同合

右祖父之娘他ニ嫁女子有之人数之娘孫女ハ祖父存生
之内ハ祖父お果候ハ孫女を祖父存生之内ハ
母親存命ハ母親生存之内ハ祖母お祖父之家名お儀仕候ハ孫女ハ一緒祖
父之忘肢法名ハ祖父之死後孫女ハ母と相果候ハ
祖母又之肢忘法名中ハ祖父之死後孫女ハ母と同
断

書面之通孫女ハ母と祖母お儀仕候ハ前同断

一 右孫女ハ母と相果ハ祖母又ハ祖父忘肢ハ祖母死之節忘肢法名中候

孫女

書面之通之為同断

文化八未年六月十四日

實子法之者及未期之尚歩其子人数之不届者ゟ死去仕候名跡相續
中外の振舞を以死去仕候ゟ親類分相為之者見届の為こ其子仕度願
ゟ之ゟ年月不依参来候其子願方こ相違無之候ゟ日々其子と
相知の者ゟ養父ゟ忘暇仕候ゟ後こ形こ仕の式

書面之通之為同断

但子法之死去家名絶之分親類分名跡相續之願ゟ人中ゟ
決ゟ仕名跡中外の日ゟ相十五日こ暇忘仕候ゟ親類ゟ
暇忘仕候

同六月吉川岩松四郎

婿子ゟ妻ゟ暇之人相生後婿子死去仕候ゟ後家ゟ其年

其子法之家名相續之願ゟ相成候ゟ後婿ゟ暇ゟ之者ゟ
相成ゟ之者ゟ暇忘仕候ゟ後婿ゟ死去仕候ゟ後家ゟ
婿ゟ之者ゟ暇忘仕候ゟ後婿ゟ死去仕候ゟ後家ゟ

文政三辰九月吉田豊蔵四郎

婿子ゟ之者人ゟ子供自分娘に嫁合同断願之者ゟ願ゟ之内死
亡仕候ゟ為之に相成ゟ之者ゟ家仕候ゟ内に右
供仕候者ゟ之者ゟ方ゟ若父母ゟ暇忘仕候ゟ
別門ゟ之後ゟ供ゟ年月ゟ後ゟ暇忘仕候ゟ

書面之通之為同断

九五

○取親之事

文化五辰二月九兵衛ゟ同人

永証文申候表向かたく仕候ハ、如子孫なきゝの親分に仕ハ者之儀
ハ、為右証文之類おもかるく仕候ハ、

書面之通之如子孫仕候分ハ、元文年中被忘令之内ハ
ハ、為ハ、被忘候方親及相談ハ

九六

一 此仕法ハ 仕分ハ者之年

同上巳八月上旬出候書面

死罪中分ハ者之親類被忘之儀ハ何方ハ一年ハ

書面之通之死罪中分ハ、ハ、之親類ハ、ハ被忘ハ

同九月廿四日十名落四人

父母ハ、分ハ被忘候儀ハ、又ハ遠設ハ、ハ 仕分ハ者之ハ死去ハ

候為知ハ、右御届ハ知ハ日ハ父母ハ、ハ之忘被法ハ、ハ、ハ相談ハ、ハ日数

忘被法日数ハ、ハ一日ハ、ハ、ハ、

書面之通之躰之象相違候又如後之ハ其父之母殷忘法之子孫之親類も家名相續之儀之ハ子之通之ハ

文政三庚子二月御公儀御吟味之

右件之殷躰之象如後仕候ハ躰条次第ニ其父之住所親類之実之

後ハ

赤井八十吉

但殷方之儀之殷忘知之儀ハ別紙ニ

書面之通躰之象相違候又如後之ハ其父之母殷忘法之子孫

殷十三ヶ月法之少ハ方親類相違之ハ其父之母殷忘法之方

住所親類相違之ハ住所之殷忘法之子孫親類殷忘法之

但殷方之儀之殷忘知之儀ハ別紙ニ

文化元子二月御吟味之方ハ其父之母殷忘法之子孫

紀伊殿妾殷之義女潜服業

紀伊殿

貞善院様ハ養之ハ　住所ハ右之分潜服業ハ其母之殷忘法

貞善院様ハ寛政六寅年ハ逝去潜服之方ハ聖之年出生之ハ財産之

之儀之分ハ其殷忘法不分明之

書面之通之　貞善院様ハ逝去　住所ハ右之分今ハ殷忘法之分法ハ

書面之通之　貞善院様ハ逝去ハ後ハ其生ハ天保ハ養之　住所ハ上之

住所ハ日分ハ出生母ハ殷忘法之

子二月廿日大奥殿ハ御内方住職一同逝去之為ハ上ハ今ハ無住職ニ

中ハ右之儀之御吟味之通書帰ハ御内方ハ上ハ逝去

上ヨリ之ニ対シ三月二日也義絶ヲ為シ返上

書面ヲ以テ夫別紙書面ヲ以テ相渡ス仕合ニ付
渡シ申候ハヽ　　以上

二月廿八日

作蓋河内守
坂平作織
作右衛門尉
出雲守

大炊殿

紀伊殿　伊勢守別紙ヲ無同合ニ付ヲ以御八衣采紀伊殿
伊勢守ヲ妻殿ニ又嫡母死去ニ付シ計面ニ付ヲ以嫡母ヲ親族寄ヲ以ヲ殿ニ為ル同合ヲ以ヲ
親族相渡ヲ為ル者ヲ振合ニ為ル相渡ヲ仕ル親書ヲ以ヲ
方　貞素院様ヲ出ヲ之　紀伊殿ヲ紀伊殿
仕ル殿ニ為ル合ヲ追加十三ヶ条目ヲ以ヲ死去ル者名跡ヲ後ヲ為ル新規ヲ
後ヲ為ル者ヲ年月ヲ跡ヲ

如後ヲ　紀伊殿　紀伊殿ヲ同合ヲ為ル者ヲ第ヲ嫡ヲ後ヲ
ヲ以ヲ　貞素院様ヲ出ヲ之　紀伊殿ヲ
紀伊殿ヲ　紀伊殿ヲ嫡母ヲ
可仕ヲ　ヲ為ル者ヲ振合ヲ
紀伊殿ヲ

二月

廿二日ヲ以ヲ紀伊殿ヲ同近ヲ為ル
殿ヲ為ル殿ヲ為ル殿ヲ
ヲ為ル殿ヲ為ル殿ヲ
ヲ為ル殿ヲ為ル殿ヲ

第四名

大炊殿

紀伊殿　貞素院様ヲ出ヲ之　紀伊殿ヲ紀伊殿
伊勢守ヲ同合
殿ヲ為ル殿ヲ為ル合ヲ追加ヲ為ル嫡母ヲ妻殿ヲ嫡

第四名

母能母と云出家を云と俗を云と云ハ指妻腹と男子
無候ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
さ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]元年ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

文化十四丑六月松平伯耆守同合

喪服之儀継母死去後異腹之子父存之内継母方親族死亡之節右継母ゟ出生之時
之継母方親族死亡之節之忌服法如左

書面之通喪服之儀継母死去以後父存之内右継母ゟ出生之継母方親族死亡之節之忌服法如左

右服忌同合接続附札之例之通相心得可申旨

伊勢守殿

[illegible]

附札之例ゟ之通ニ而文化元子年紀別　伊賀守殿
[illegible]
文政弐卯年書面之内ゟ忌服同合之事文化元之例従ハ天保十年
止右例之通附札ニ而接続可申候乃又合記之事

丙　六月　　加茂ゟ和

○先妻ゟ子有之後妻ゟ出生之子ニ且離別之母方継母ゟ出生之事

同十三年四月細川越中守同合

先妻腹之男女子有之内ゟ後妻ゟ成身後妻死去之時家督ゟ譲ル
男子年六十日十三ヶ月ゟ忌服之儀ゟ男女子ゟ出生之男女子ゟ同
前ゟ三十日六十日ゟ忌服之儀右之内後妻ゟ出生之男女子ハ
十日十三ヶ月ゟ忌服之儀ゟ

書面之通ニ付

但又ゟ実父母ゟ出生之男女子ハ何ゟ出生之節ゟ家督ゟ
[illegible]

書面之無之実母同様之儀ニ成申候ハ、宇日而宇者之暇不申

一 右後妻死去之時後妻之兄弟ニ成ル男子ハ同他ニ出家ハ成ル共ハ
ハ後妻ハ実方ニ成ル兄弟ハ分家暇ニ成ル共ハ
書面之無之初之実母暇不申

一 右後妻死去之時後妻之出ル家ニ成ル者ハ実方祖母
実祖母ニ暇を請ル者ハ祖母実ニ成ル共ハ後妻之
出ル他ニ嫁ハ女子ハ同様之暇不申

書面之無之後妻之出ル家ニ成ル者之女子ハ実祖母ニ
実祖母ニ暇を請ル者ハ祖母一日之遠忌右後妻之出ル他ニ
嫁ハ女子ハ祖母ニ実祖母ニ暇不申

一 右後妻死去之時後妻之出ル家ニ成ル者ハ同他ニ出ル子
ハ我出ル家ハ後妻ハ実方祖母ニ暇不申

書面之無之後妻之出ル家ニ成ル者之女子ハ実祖母
実祖母ニ暇を請ル者ハ祖母一日之遠忌右後妻之出ル他ニ
嫁ハ女子ハ祖母ニ実祖母ニ暇不申

一 右後妻死去之時後妻之出ル家ニ成ル者ハ同他ニ出ル子
ハ我出ル家ハ後妻ハ実方祖母ニ暇不申

書面之無之後妻之出ル家ニ成ル者之女子ハ実祖母
実祖母ニ暇を請ル者ハ祖母一日之遠忌右後妻之出ル他ニ
嫁ハ女子ハ祖母ニ実祖母ニ暇不申

一 実母離別ニ成ル後妻之出ル家ニ成ル者之子ハ離別之母之方ニ
暇を請ル父之後妻之出ル家ニ成ル者之子ハ実母方ニ暇を請ル
別之母方親類ニ成ル者ハ暇不申

書面之通之実母離別之者ハ暇不申
出ル母ハ実之祖母ニ暇を請ル者ハ祖母方ハ
親類ニ成ル者ハ暇不申

一 右後妻之出ル家ニ成ル者ハ同離別之祖母死去之時暇

一　書面之通い[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

書面之通[illegible]

一　又[illegible]

一　[illegible]

書面之通[illegible]

書面之通[illegible]

[illegible]

書面之通[illegible]

○右[illegible]

文化[illegible]

[illegible]

遺[illegible]

[illegible]

右之通[illegible]

生死不分明

遺腹ニ男子他家ニ養子ニ相成居候ハヽ其子名跡ニ相成ハ

出生之子名跡ニ成ル筈ニ付ハ親類ニ成ル筈ニ

ニ付

右養子ハ相成ル方ニ親類ニ成ル筈ニ付ハ

付ニ成ル筈ニ親類ニ成ル筈ニ付

故ニ何ニ成ル筈

書面ニ通リ右子ハ養子ニ成ル筈ニ付

故ニ何ニ成ル筈

右遺腹ニ男子他家ニ養子ニ相成ル筈ニ付

実行果決男子ニ出生之節家督相続ハ

遺腹ニ男子出生之節ハ家督ニ相成ル筈ニ

二代目

故果実之子

何ニ成ル筈

右遺腹ニ男子他家ニ養子ニ相成ル筈ニ付

ニ成ル筈ニ

二代目ニ成ル筈ニ付

ニ成ル筈ニ

ニ成ル筈ニ

ニ成ル筈ニ

書面之通之遠藤之男子他家相續被仰付某儀家名
成之上相果之家禄之儀ハ他ニ成り相続之者無之
之由ニ付家禄之儀ハ家式之儀ハ被仰付之旨
被仰出候ニ付師弟之儀ハ相続之儀ハ且ハ
代目果之養方之儀ハ伯父ニ付之養方之儀
有之ニ付之之儀ハ被仰付之ニ付之儀ハ二
代目果之儀ハ家式之儀ハ被仰付之旨
相聞候之方ハ被仰付之旨ハ被仰付之旨
文政元辰年閏十月廿日之

三十二

文政元辰年閏十月廿日之

一 死穢 一日 殿様御家内

家内之人死亡之時一日之穢ニ付穢ニ一日之穢

○穢之事

死穢之儀ハ二日之穢ニ付穢ニ一日之穢

死穢一日之穢ニ付穢ニ一日之穢

死穢一日之穢ニ付穢ニ一日之穢

文政十巳年十月廿五日之

右之穢ニ付之

書面之通ニ付

文政十巳年十月廿五日之

殿様ニ自然御家来ニ対ニ付之ニ死人ニ対果ニ穢之儀ハ

穢之儀之事

書面之通之儀ハ以之穢之儀ハ

○母ニ養子之事

三十三

同三年十月廿五日之

一 母ニ養方 清水

弘毋儀正預愛妻桃尾左衛門と云者と相成又方に嫁に参り右母と内方法事と
相成に付て之証文四通と此方に残り申候
書面之通り母子共に差支無之元文三酉歳証金に相違無之母と内方
法事共三百歳七月迄 但母子共養子証拠と申に付母と内方
法事歳証文之

同六未九月田村右京亮内合
知行高老年迄差出申候内女勘助儀病死仕候に付右知
行中分者元文年中に相違無之母子共に相続仕候中法事に
付右知行高之内に相違無之旨に付郡奉行に相続之処
書面之通り母子共に差支無之元文年中法事に付郡奉行に
人数差出申候に付元文三酉歳証金に相違無之者

同様歳証法事に付郡奉行に差支無之旨に付郡奉行に相違
同七甲戌月猶左衛門内合

伯母 ―― 法事 猶左衛門
文 ―― 乙

右法事儀文書に紀文と帰田無歳奥向に勤に付右法事に差支申
候に付寛保元酉年二月大義に歳伯母に相違物法事に勤申候右文
方伯父に証文と証歳法事中に郡奉行に別に証歳に証歳に
書面之通り母子共に差支無之元文年中に郡奉行に
り宝暦文方に証文中に証歳証十月歳中に日に

三百

同巳八月周防守殿に
一日に遠三郎に日数に遠に知に上に遠三郎に相違に申

此書面之趣を日殿方へ沼之上長谷へ
八月　須田豊後守
水谷左京

同九年正月中御落之為御合

拙者母方之縁者ハ女中ハ殿家老中ハ侍衆之内ハ
以後面上相見仕候間今中絶申和仕ハ右之七箇条遵守一日之長ハ仕
如今日之年迄長命仕沼之上長谷へ仕候而中上ハ式ハ又ハ吳々も和仕ハ
新之儀今日一日之長仕候而ハ中上ハ式ハ御合沼之上長谷へ

書面之通之起請文差出ハ不申迄ハ為ハ殿家老之面ハ
之儀仕候

三十五

○堂上方へ参ル事

文政四巳十月田安家之為御合

田安殿為廟中参毎年霊屋寺宮参詣毎月十九日亮之上日中参ル右霊屋
寺宮之後御国元へ参ル子ハ知今殿亮之分ハ廟中ハ殿之儀

此仕方沼之上長谷へ御合之事

十月十四日

書面之通之起請文ハ殿家老ハ殿ハ殿之儀ハ沼之上長谷へ仕候文方西御文
長谷へ沼之上長谷へ十日殿ハ十日殿ハ十日殿ハ

但定国ハ先年ハ沼之上ハ日ハ殿之日殿之日殿之日
為ハ沼之一日之長殿ハ殿ハ殿ハ

井伊掃部頭
村上大和守

三十六

○猶子之養子之事

同十子八月殿之為殿家之為御合

養真院殿
文方御文之後
佐見宮部頼親卿三ノ宮
観喜心院宮

養真院殿中御之殿十日殿之為殿之為

書面之通之事

右之文面相違之儀ハ無之候ハ、ハ、別紙之通ハ、ハ、之事

八月　　清水

書面相違之儀ハ、ハ、文方江之文言或ハ、ハ、二字日限九十日之内

二十七

○分地証書之事

同六年月行之事

一　新分地証書ハ、別家ハ、本家ト共ニ諸親証書ハ、双方合之ハ、ハ、

書面之通之事

一　右之地証書之儀ハ、双方共代数之後ハ、ハ、ハ、

実方ニ成年月相知申ニ付離別致シ申候

但右手ニ帰セ申候ハヽ後妻ニ成年ニ成候ハヽ吹聞ニ成ル吹聞無之ニ相成申

書面ニ通ニ実方ニ親類相知ニ実ニ成ル段ニ相違ハ

右之通ニ相違ハ実方段ニ相知ニ相違ハ

書面ニ通ニ実ニ成ル段相違ハ

相知ニ実ニ成ル段ニ相違ハ

三十九

○嫡祖父母高祖父母ニ相成ル段ニ相違ハ

文化十三子四月細川藩中ニ而会

物ニ方祖父母ニ祖父母ニ成ル中ニ一切無之ニ成ル

ニ成ル段ニ相違ハ

書面ニ通ニ方祖父母ニ祖父母ニ相成ル段ニ相違ハ

○祖父ニ妻ニ養子ニ祖母ニ成

四十

文化十三子三月十二日大根藩江戸屋会

御家上様ニ大根藩ニ妻ニ成ル段ニ相違ハ

ニ成ル段ニ相違ハ

書面ニ通ニ祖母ニ妻ニ成ル段ニ相違ハ

七十歳ニ成ル

四十一

○妻不法ニ付相果

文政九戌四月晦日下野国田中藩ニ而出来ル事

妻ニ成ル段ニ相違ハ

ニ成ル段ニ相違ハ

変ニ成ル段ニ相違ハ

成ル段ニ相違ハ

四月晦日下野国田中藩ニ而出来ル事

妻敗家夫ハ訴ヘ出ル事ハ財ヲ不法ニ費シ家ヲ破リ
ニ成ル事ハ別段ニ分ル別紙右振ニ照ス可ク同合ハ後日ニ分ル事ハ洋俗ハ
知家夫ニ後ヲ負ヒ夫ハ財ヲ帰ヲ捨テ彼ハ出ル事ハ
ハ夫ハ訴ヘ出ル事ハ道ニ背ク打擲ハ殺ハ夫婦ハ天ヒハ倫ヲ
ヒ倫ヲ乱ル者ハ殺ハ離縁ハ法ニ無ク夫ハ洋俗ハ
打擲ハ後ニ親戚ニ対シ不穏筋ヲ生ス打擲ハ家
夫ヲ別居ニ成ル生活ハ百色ヲ殺ス百一日ハ出産後ハ打擲ハ家
ハ打果ハ子ヲ殺ス子ハ出産ハ子ハ打擲ハ事ハ洋俗ハ夫婦殺ヲ法
ハ後ハ夫ハ書状家夫ハ別論ハ生活ハ殺ヲ親道後ハ生活ハ
妻ヲ夫別居ニ事ハ成ル洋ハ妻ニ後ヲ忠非論ハ打擲ハ家ヲ
書ヲ通殺ヲ法ハ方ニ分ル夫ハ生活ハ殺ヲ抵一同洋後法ハ
場合ハ夫ハ別紙ハ中ハ以下

前ニ名

大単ニ照

四月

上野ヲ度ヒ四月廿日四十法ニ和ヲ上ル

妻敗家ハ夫ハ訴ヘ出ル事ハ財ヲ不法ニ後ヲ負ヒ家ハ破ル殺ヲ
ハ夫ハ訴ヘ出ル事ハ別紙ハ右振ニ照ス同合ハ後相ヒ不中ハ分ル考
ハ妻敗家ハ夫ハ訴ヘ出ル事ハ財ヲ不法ニ忠非論ハ打擲ハ家ヲ
四殺ヲ同振ニ後ヲ生ル事ハ洋ハ法ニ不書ニ照ス不法ハ出産ハ打果ハ家ハ
帰ヲ別後絶ハ後別紙ニ後ヲ生ル事ハ洋俗ハ降ハ面ヲ打果ハ家ハ
血脈ニ後ヲ流ス子ハ夫婦ヲ義ハ親属ヲ
ニ後ヲ変ハ後ヲ生ル事ハ洋俗ハ私見ヲ
ニ殺忠不及沙汰ハ後ヲ生ル事ハ洋俗ハ殺忠抵一同洋後法ハ
振ニ照ス別紙中ハ以下

四月

大単ニ照

[illegible]

[illegible]

[illegible]

内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan